
令和7年度 ブラッシュアップ事業発表会

令和7年度イノベ地域来訪者受入体制構築事業
「地域の価値向上に向けたブラッシュアップ事業」

一般社団法人ふくしま部
2026/2/24

Background

2017年度より経済産業省様の支援を受け、浜通り地域を中心としたスタディーツアーの企画・開催を行ってきました。議論を重ねる中で「行って終わりではなく、もっと現地と繋がって様々な活動がしたい」こんな声が多く聞こえてきました。そこで、私たちは「現地と繋がり続け、自分事として活動できるコミュニティ」を目指し、2021年より福島県を始動しました。

Concept

「福島のために」ではなく、私たちが私たちのために、福島をより知って楽しめるコミュニティ

Mission & Vision

一度福島を訪れた人が、継続的に地域に暮らす人びとや風土に触れられる繋がりやコミュニティを育み、「自分ごと」として活動できる交流人口を増やす。

福島県内



浜通りスタディーツアー

2017年より企画・運営を開始し、これまでに計7回、各回40人規模で浜通り地域の訪問を実施してきた。福島第一原子力発電所の視察を中心としながら、周辺自治体への訪問、伝承館などの施設での学習、参加者同士のディスカッションを主な内容としている。様々な意見やアイデアが生まれ、初めて福島を訪れる人も多く、多くの学びや福島に関わるきっかけを提供している。英語でも実施し、約20カ国の留学生が参加。

ディープツアー

浜通りスタディーツアーだけでは回り切れないよりローカルな福島を知るために年に3~4回程度企画し現地を訪問。地元の課題や魅力を深く知り、人と繋がり、様々な議論を楽しみながら交わしている

双葉町での取り組み

2022年度よりこれまで福島県での活動で培ってきた知見を活かし、双葉町をフィールドとして街づくり、主に関係人口創出に関する支援を実施。

オンライン・関東圏



オンライン コミュニティの運営

スタディーツアーが終わった後も繋がっているためのオンラインコミュニティを形成。月に一度ゲストを呼んだりして福島と関わり続ける場を提供する。

関東圏で関係人口 創出イベントの開催

関東にいても食や文化などを体験し、楽しめる企画を関東圏を中心に実施。イベントだけでなく、物販の企画やイベントへの登壇などでも関係人口創出を増やしている。

福島部コンセプト

社会が無限に広がるパズルなら、僕たちはどんなピースを組み合わせたいだろう。

「震災から10年。福島のために何かできないだろうか？」それが議論のきっかけだった。
でも、実際に訪れてみて感じたのは、福島が秘める可能性、面白さ。
仲間と話せば、自然と色々なアイデアが湧いてくる。

福島のために、
じゃない。

考えてみれば「福島のために」と考えること自体、
どこかタニンゴトで、オコガマシイのかもしれない。

私たちが、私たちのために、福島をより知り、楽しめる。
福島を軸に人と人がパズルのように繋がり、新しい絵が浮かんでくる。
そんなコミュニティを目指す、それが「福島部」。

福島部は
将来を担う国内外の若手リーダー層が
福島の今を学び、
人や地域が持つ魅力を知り、
福島と繋がり続けるための
プロジェクトです。

活動内容

いってみる

原発やエネルギー問題だけでなく、人、文化、自然など、様々な角度から福島の今を学ぶスタディツアー

つながり、かんがえる

福島について理解を深め、現地の方々と繋がり続けるオンラインコミュニティ、メンバー限定ツアー

えがく

参加者が企画するプロジェクトの実施
(例：GSCメンバーの選ぶ福島の魅力伝えるECサイト、福島の学校での教育ワークショップ、など)

取組概要及び目的

我々が当事業
で目指すこと

トップダウンとボトムアップの双方の視点を持ちながら、関係人口と住民が一体
となって持続的に地域を盛り上げ、浜通りを「世界一暮らしたい街にする」

イノベ構想の多岐にわたる領域
の先進事例を作ることで、福島
浜通りから新たな産業 / 世界的
な先進事例を生み出していく



行政による公助だけでなく、住
民目線での課題をくみ取り、関
係人口も巻き込みながら、地域
内での自助・共助も促していく

トップダウンでの
イノベーション創出
(野心的・社会全体を見据えた挑戦)

ボトムアップでの
地域の課題解決
(ローカルの発展による下支え)

日本の新たな地域
モデルとして、
浜通りを
世界一暮らしたい
街にする

イノベ構想の目的・趣旨

- イノベ地域の新たな産業基盤の構築を目指す
- 6つの重点分野を中心とした拠点整備を含め、産業実績の実現、教育・人材育成、交流人口の拡大などの取り組みも実施

ブラッシュアップ事業の目的・趣旨

- 交流・関係人口を外部から呼び込む
- イノベ構想の担い手を継続的に確保し、自立的、持続的に外部の活力を呼び込む体制を構築する

「浜通り未来共創プロジェクト」事業概要①

■ ふくしま部

企画① 浜通りダイアログツアー

対話を重視したツアーを3回実施し、参加者と地域の方々が繋がるきっかけを作る

企画② 浜通りまるごとビジョン

ツアー訪問後も参加者が地域の方々との対話を通して共通のビジョンを共創する

企画③ 浜通りまるごと会議

参加者と地域の方々がともに練り上げたビジョンを発表し、更に深化させる

「福島浜通り未来基金」との連動により
本年度以降も事業を継続させる

対話相手
となる事業者
や地域関係者
をご紹介
いただく

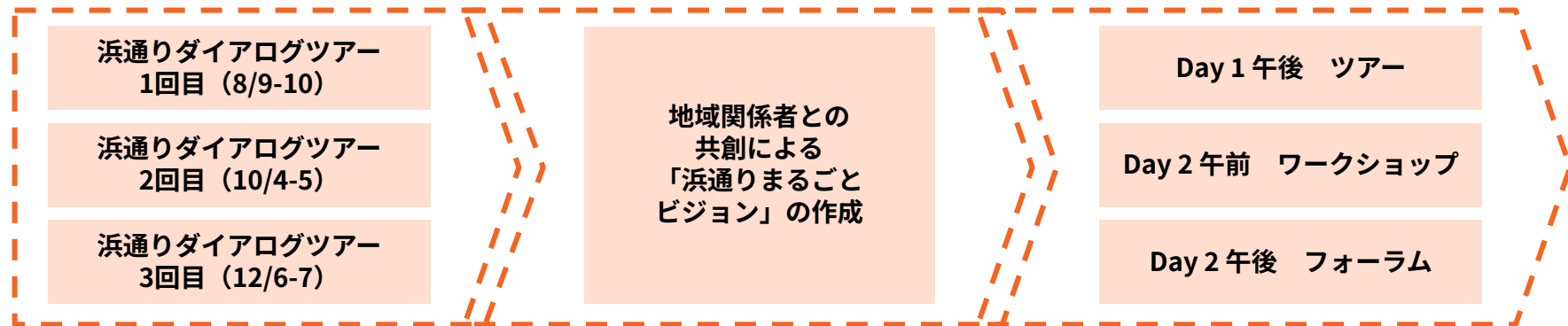
基金の応援者
・ファンと
なっていた
だけの地域関係
者や関係人口
の掘り起こし

HAMADOORI 13



コミュニティ単位の小さな
取り組みから大きな事業ま
で、様々なスケールでの
挑戦を応援する基金
「福島浜通り未来基金」
の立ち上げ

「浜通り未来共創プロジェクト」事業概要②



要素①

浜通りダイアログツアー

地域外の人を関係人口として巻き込み、地域との接点を作るための「浜通りダイアログツアー」を、昨年8月・10月・12月に3回にわたって実施しました。首都圏等から訪れる若者が、浜通りで暮らし・活動されている地域の皆さまとの対話を通じて、地域の現在地や課題・未来像をお伺いしながら、地域に愛着を持ちながら浜通りの未来を共に考えていくための1泊2日のプログラムです。

要素②

浜通りまるごとビジョン

ツアー訪問後も参加者が主体的に地域に関わり、地域の皆さまと繋がり続けながら、共通のビジョン「浜通りまるごとビジョン」を作成しました。また、一般社団法人HAMADOORI 13と連携し、同社が今年度中に立ち上げ予定の福島浜通り未来基金の支援先プロジェクトの発掘、応援いただける地元関係者との対話や将来的に関わってくださる関係人口の拡大も目的としています。

要素③

浜通りまるごと会議

本事業の集大成として、本年2月7-8日に開催した「浜通りまるごと会議」にて地域内外の様々な関係者が一堂に会し、作成したビジョンの発表とHAMADOORI 13主催の基金のリリースを行いました。

取組成果（実績）①浜通りダイアログツアー

ダイアログツアーVol.1

○開催日程

2025年8月9日(土)-10日(日)

○訪問地域

浪江町、大熊町

○対話先（敬称略）

- ・近藤学（大堀相馬焼陶吉郎窯九代目）
- ・相馬行胤（相馬家第34代）
- ・高橋大就（一般社団法人NoMAラボ）
- ・原口拓也（株式会社ReFruits）
- ・北村公一
（一般社団法人ふたばプロジェクト）
- ・伊藤まり・葛西優香
（樋渡牛渡田植踊り保存会）

○参加人数

18名（社会人9名、学生9名）

ダイアログツアーVol.2

○開催日程

2025年10月4日(土)-5日(日)

○訪問地域

小高区、浪江町、双葉町

○対話先（敬称略）

- ・岩川貴子（割烹貴久）
- ・泉田元紀（湘南福島県人会）
- ・和田智行（OWB株式会社）
- ・黒田敦史（ビジネスゲートウェイ株式会社）
- ・松本奈々（MUTAS COFFEE）
- ・平岡雅康
（株式会社Fukushima watch company）
- ・橋本恭佑
（南相馬市起業型地域おこし協力隊員）

○参加人数

19名（社会人10名、学生9名）

ダイアログツアーVol.3

○開催日程

2025年12月6日(土)-7日(日)

○訪問地域

富岡町、川内村

○対話先（敬称略）

- ・沖野昇平（in the Rye株式会社）
- ・大島草太（株式会社Kokage）
- ・佐藤夏美（READY SOCIAL株式会社）
- ・野田翔一郎（Rabbit&Turtle株式会社）
- ・渡邊俊文（株式会社サイドストーリー）

○参加人数

20名（社会人13名、学生7名）

取組成果（実績）①浜通りダイアログツアー



近藤学さんから、伝統・継承に関するお話を伺う（Vol.1）



殿、高橋大就さん、ノーマの谷メンバーと車座の対話（Vol.1）



請戸漁港にて、泉田元紀さんから震災後の想いを伺う（Vol.2）



小高パイオニアヴィレッジにて、浜通りのビジョンを描くWS（Vol.2）



naturadistill 川内村蒸溜所、多くの参加者がジンを買
い求めた（Vol.3）



浜通り内外からの参加者と描き上げた浜通りのビ
ジョン（Vol.3）

取組成果（実績）①浜通りダイアログツアー メディア掲載実績

ダイアログツアーVol.1



福島民友新聞社掲載

【浜通りで未来を語る2日間】第1回 浜通りダイアログツアー レポート

♡ 3

一般社団法人ふくしま部
2025年9月24日 20:02 フォローする

浜通りと出会う2日間

8月9日～10日、ふくしま部の「浜通りダイアログツアー」第1回を開催しました。

浜通りの現場で、地域の人々と対話しながら、文化・産業・まちづくりの現状や未来を学ぶ2日間です。全国から集まった参加者は、地域の魅力や課題を自分ごととして考えました。

Note（ふくしま部公式）投稿

ダイアログツアーVol.2



福島民報社掲載



【浜通りで未来を語る2日間】第2回 浜通りダイアログツアー レポート

♡ 2

一般社団法人ふくしま部
2025年10月31日 09:02 フォローする

浜通りと出会う2日間

10月4日～5日、ふくしま部の「浜通りダイアログツアー」第2回を開催しました。

浜通りの現場で、地域の人々と対話しながら、まちづくりの現状や未来を学ぶ2日間です。全国から集まった参加者は、地域の魅力や課題を自分ごととして考えました。

Note（ふくしま部公式）投稿

ダイアログツアーVol.3



【浜通りで未来を語る2日間】第3回 浜通りダイアログツアー レポート

♡ 2

一般社団法人ふくしま部
2025年12月31日 10:03 フォローする

浜通りと出会う2日間

12月6日～7日、ふくしま部「浜通りダイアログツアー」第3回を開催しました。

今回、対話のファシリテーションは「開炉端会議」が担当しました。開炉端会議とは、開炉裏という日本の文化的空間を活かし、対話・関係性構築を行う集団です。

開炉裏を囲んで火の揺らぎをみながら、時には団子やマシュマロを焼きながら対話を行い、開炉端会議の不思議な空間を楽しみました。

ツアー-vol.1,2とは、また異なる新鮮な体験でした。

Note（ふくしま部公式）投稿

取組成果（実績）②浜通りまるごとビジョン

浜通りまるごとビジョンの全体像



ダイアログツアー
vol.1 (8月)



ダイアログツアー
vol.2 (10月)



ダイアログツアー
vol.3 (12月)



浜通りまるごとビジョン
①全体コンセプト

②どんな浜通りに
なってほしいか



③我々はどんなこと
に取り組むのか

取組成果（実績）②浜通りまるごとビジョン

ビジョンの取りまとめWSの様子

Frame 4

[illegible]

Frame 1



Frame 2



Frame 3



Frame 4



① ファッションモデル対談：黒田さん（政経新聞）

- [illegible]

② 小島ワークスペース 新田さん

- [illegible]

③ パネルセッション：松浦さん (MUTAS COFFEE)・平岡さん (Fukushima Watch Community)・清水さん (MUTAS COFFEE)・田中さん (MUTAS COFFEE)

- **新製品 (New Products)** : 市場に新製品を投入すること
● **改良品 (Improvements)** : カスタマイズ
● **再製品 (Refurbishments)** : 修理、部品交換によって顧客に提供可能なようにする
● **プロダクトライフサイクル** : 新製品が市場に投入されてから、最終的に「リタイア」されるまでの期間
● **リタイア (Discontinue)** : 市場から撤退すること
● **新製品 (New Products)** : 市場に新製品を投入すること
● **改良品 (Improvements)** : カスタマイズ、部品交換によって顧客に提供可能なようにする
● **再製品 (Refurbishments)** : 修理、部品交換によって顧客に提供可能なようにする
● **プロダクトライフサイクル** : 新製品が市場に投入されてから、最終的に「リタイア」されるまでの期間
● **リタイア (Discontinue)** : 市場から撤退すること

④ 黒田さん（大田インキュベーションセンター）
～大田市の発展のために、全力で取り組む～

- [illegible]



取組成果（実績）②浜通りまるごとビジョン

「2011年、この地域の人口はゼロになった。」

だからこそ、私たちはここから無限大の未来を描く」



人類の叡智と安全・安心の両立

最先端に挑む人間の無限の可能性、これを守る安全・安心の仕組み。この両輪が回る地域こそ、私たちの目指す浜通り。

無限大の可能性を目指して

技術のみでなく、希望や想いをを持った人が一歩踏み出しキセキ (奇跡 / 軌跡)を残す。
人間の可能性が最大限に発揮される地域。

豊かな土壌

誰もが受容され、
居場所を見つけられる
共同体



多様ないのち

誰もが場所を感じ、
関わり続けられる地域



新たな芽吹き

自分達の手で、
生み出す新しい未来



未来への継承

歴史や伝統を元に、
未来へと繋がる誇り



取組成果（実績）③浜通りまるごと会議 概要

Day1 2/7(土)

3つのコースに分かれて
浜通りのリアルやイノベ構想を
体感するツアー

グループ1
浜通りの「食」と「エネルギー」
を学ぶコース

グループ2
浜通りの「教育」と「暮らし」
を学ぶコース

グループ3
浜通りの「技術」を学ぶコース

Day1参加者：36名

Day2 2/8(日)

浜通りのビジョンを描くフォーラム @CREVAおおくま

9:00-9:15	ワークショップ	浜通りまるごとビジョン案の共有
9:15-10:00		浜通りまるごとビジョンについて対話
10:00-11:00		浜通りの「あったらいいな」について対話
12:00-12:30	パネル①	浜通り未来共創プロジェクト・ 福島浜通り未来基金の紹介
12:40-13:40	パネル②	これからの浜通りを、 私たちはどう描くのか？
13:50-14:50	パネル③	挑戦が連鎖する浜通りの未来エコシステム
15:00-16:00	パネル④	浜通りビジョンピッチ ～5年後に向けた挑戦者達の宣言～
16:00-16:30	クロージング	

Day2参加者：62名

取組成果（実績）③浜通りまるごと会議 Day1ツアー

「食」と「エネルギー」コース

- ・とみおかワイナリー
- ・株式会社ReFruits
- ・株式会社ライスレジン



とみおかワイナリー



株式会社ReFruits



株式会社ライスレジン

「教育」と「暮らし」コース

- ・BASEマチナカ
- ・FUKUSHIMA WWW.
- ・学び舎ゆめの森



BASEマチナカ



FUKUSHIMA WWW.



学び舎ゆめの森

「技術」コース

- ・曾澤高圧コンクリート株式会社
- ・東京電力廃炉資料館
- ・廃炉環境国際共同研究センター（富岡施設）



曾澤高圧コンクリート株式会社



東京電力廃炉資料館



廃炉環境国際共同研究センター（富岡施設）

取組成果（実績）③浜通りまるごと会議 Day2フォーラム

浜通りまるごとビジョンの共有WS

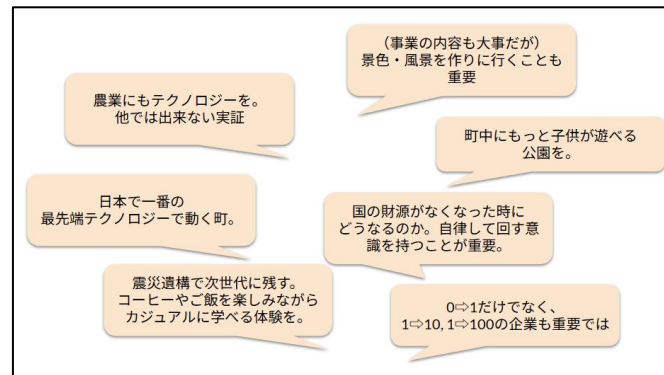
これまでのダイアログツアーにおいて、地域の方々との対話を通じて描いてきた「浜通りまるごとビジョン」を共有した。あわせて、過去のツアー参加者や地域関係者の想いを紹介し、ビジョンの背景にある文脈を参加者間で共有した。さらに、参加者から新たな視点や意見が提示され、ビジョンの深化に向けた議論を行った。



ファシリテーターによるビジョンの共有



初めて浜通りに訪れた参加者も、積極的に議論に参加



参加者から提示された、ビジョンに関する新たな視点や意見

取組成果（実績）③浜通りまるごと会議 Day2フォーラム

地域の登壇者によるセッション①

ふくしま部

セッション①

12:00-12:30

浜通り未来共創プロジェクト・浜通り未来基金の紹介



林志洋
一社ふくしま部 理事



吉田 学
一社HAMADOORI 13
代表理事



谷口 秀憲
株式会社H.T.Coast 代表取締役社長
福島浜通り未来基金事務局長

ふくしま部

パネルディスカッション②

12:40-13:40

これからの浜通りを、私たちはどう描くか？



高橋 大就
一社NoMaラボ 代表理事 など



但野 謙介
一社バイオリズム 理事 など



谷田川 佐和
株式会社Oriai
大熊事業所担当



林志洋
一社ふくしま部 理事
モデレーター

ふくしま部

パネルディスカッション③

13:50-14:50

挑戦が連鎖する浜通りの未来エコシステム



小田 翔武
AstroX株式会社
代表取締役CEO



山口 直美
株式会社Cell-En
代表取締役 COO



黒田 敦史
大熊インキュベーションセンター
インキュベーションマネージャー
など



小林 正典
公財)福島イノベーション構想
推進機構 産業集積部長



牧野 佑亮
一社ふくしま部 代表理事
モデレーター

ダイアログツアーから浜通りまるごと会議へと続くこれまでの流れを紹介し「浜通り未来共創プロジェクト」を振り返った。一般社団法人HAMADOORI 13構想する「福島浜通り未来基金」の構想も発表した。

関係人口やローカルプレイヤーが増加する浜通りの現状を踏まえ、地域に根差して活動されている方々に、改めて地域のビジョンを語っていただいた。あわせて、これから浜通りで活動する新たなプレイヤーへの期待や、どのように向き合っていきたいかについてもお話しいただいた。

浜通りにおける宇宙やエネルギー分野をはじめとする先進的な取り組みをご紹介いただいた。あわせて、浜通りの産業を一つの集合体として捉え直し、今後求められる挑戦や目指すべき将来像について、横断的な視点から議論いただいた。

取組成果（実績）③浜通りまるごと会議 Day2フォーラム

地域の登壇者によるセッション②

福島県 福島市

セッション④

15:00-16:00

浜通りビジョンピッチ～5年後に向けた挑戦～



吉成 孝志
公財)福島イノベーション
推進機構 交流促進部長

谷口 秀憲
浜通り未来基金事務局長

コメンテーター



相馬 行胤
相馬家第45代

コメンテーター



石川 綾佳
一社)ふくしま部 代表理事

モデレーター

新しく浜通りで挑戦する意思を持つ8名のプレイヤーが、5年後を見据えた自身の目標や取り組みたいことを「ビジョンピッチ」として宣言した。開かれた場での宣言を通じて、これまでの議論を具体的なアクションへと繋げるとともに、福島浜通り未来基金など今後の支援や共創の可能性も示した。

福島県 福島市

クロージングセッション

16:00-16:30



林 志洋
一社)ふくしま部 理事



吉田 学
一社)HAMADOORI 13
代表理事

本会議全体の総括として、各プログラムを通じて生まれた気づきや学びを参加者全体で共有した。

また、新保隆志氏（大熊町副町長）、畠山信也氏（富岡町企画課長）より、会議全体を踏まえた講評をいただき、浜通りのこれからを担う若い世代への期待と、今後の地域との関わり方についてメッセージを頂戴した。あわせて、双葉町からも応援メッセージをいただき、会場にて代読した。

取組成果（実績）③浜通りまるごと会議 Day2フォーラム



60名を超える参加者とともにフォーラムを開催



深澤さん（open roastery Alu.）によるコーヒーの提供



行政・民間双方の視点からビジョンを議論



堀本大樹氏（訪問鍼灸師）（左）と原口拓也氏（株式会社 ReFruits）（右）によるビジョンピッチ。



新保隆志氏（大熊町副町長）、畠山信也氏（富岡町企画課長）によるご講評、双葉町から応援メッセージもいただいた

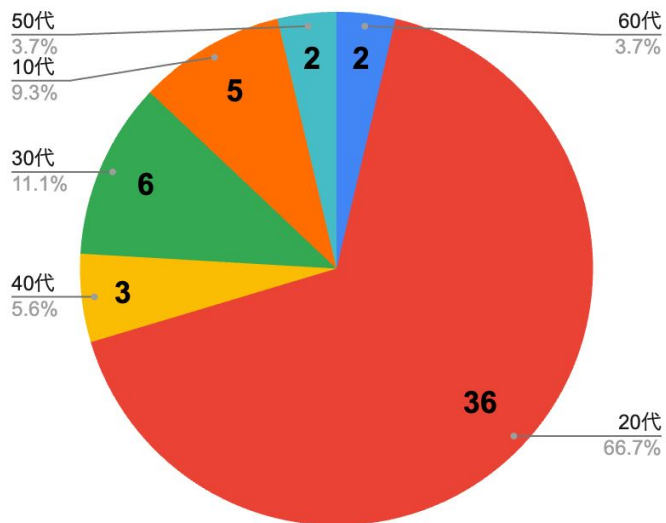


イベントを締めくくる集合写真

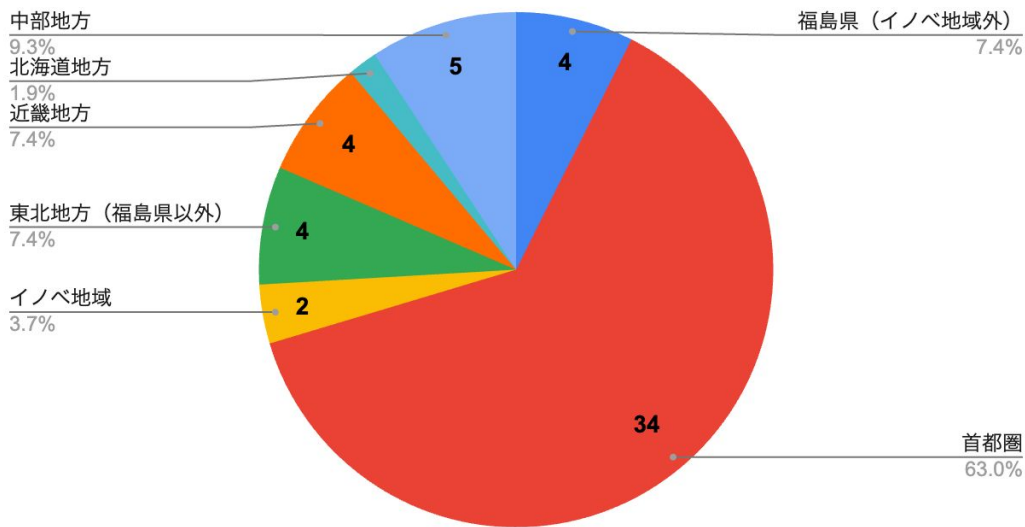
効果検証：事業の結果

合計参加者数(関係人口新規創出数)：58名

参加者年齢



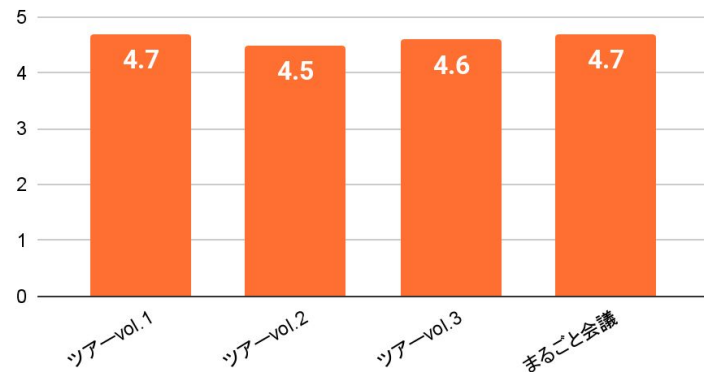
参加者居住地



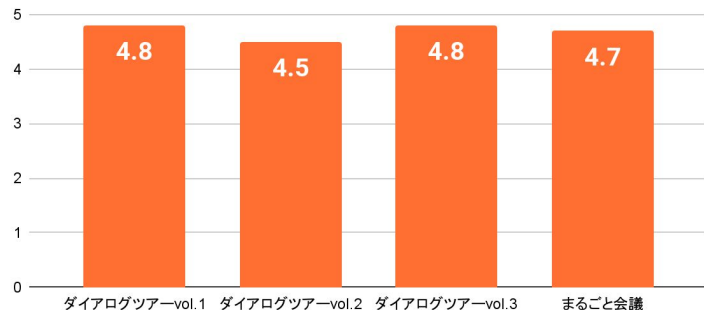
地域関係者の巻き込み数：45名

効果検証：アンケート結果①

ご指定の質問①満足度



ご指定の質問③来年以降も同様のものに参加したいか



ご指定の質問②満足度の理由(抜粋)

- 地域の方と対話をこんなに深くできるとは思っていなかったの
で、多くの方と対話でき充実していました。また多様なバックグ
ラウンドを持つ参加者とのコミュニケーションも隙間時間でとれ
たのでとても刺激的で参加してよかったと改めて感じました。
- 多様なゲスト方とのお話や、参加者との交流を通じ、まちづく
りにどう参画していくか、自分の生き方をどう創っていくかの解像
度が少し上がったため。
- 大変刺激になり、浜通りの5年後を考えるとともに自分自身の
5年後を考える良い機会になりました。
- このツアーがなければ一生をかけても出会わないような方々
とたくさんお話ができ、とても充実した時間を過ごすことができ
ました。
- お金を払いたいと本気で思えるくらい良いツアーで、参加者含
め地元の人たちとずっと話す時間がもっと欲しいと思うくらい
の良い経験をさせて頂いたから。
- 従来観光に来るだけでは知ることのなかった、浜通りの方々
のご経験や想いを聞くことができました。
- お話を聞いて、頭をフルに回してアウトプットして、中身の詰
まった2日間でした。
- これまで福島と深い関わりがなかったので、震災の痛みがど
こか他人事でしたが、今回色々な人の話を聞く中で、前より自分
事化できたと思います。

効果検証：アンケート結果②

＜アンケートから得られる示唆＞

- 浜通りダイアログツアー3回分で約60名、まるごと会議で約100名がイノベ地域に来訪（計約150名規模）し、特に福島県外から多くの新規来訪者を獲得することができた。
- 毎回の事後アンケートの回収率が高く、**参加者の当事者意識・関与度が高い**傾向が見られる。
- **大学生、会社員、公務員、個人事業主、地域プレイヤー**など多様な属性の方に参加してもらい、特に**意欲的な学生や、20-30代の社会人を中心とした若年層**の関係人口を新規に創出することができた。
- 「浜通りダイアログツアー」から「浜通りまるごと会議」まで、**複数回参加したリピーター**が約10名存在し、そのうち全ての回に参加した方も確認でき、関係人口の中で特に**関与度が高いコア層**も獲得できた。
- **「対話・体験→再訪→継続関与」へとつながる関係人口形成の実践事例**として成功することができた。

今後に向けて（次年度以降の計画）

地域内外の関係者が**出会う機会・アクションする機会を継続的に創出するために、来年度以降も**
浜通り未来共創プロジェクト関連の事業を継続して実施する予定

事業で生まれた アイデアの 実装化支援

- 福島浜通り未来基金と連携し、アイデアの実装を支援するための各種サポート等を実施（例：イベント/プロジェクトの共催や副業人材の紹介/マッチング等）

関係人口向け の事業強化

- 浜通りダイアログツアーを自走化し継続予定（既に4月に会津ツアー開催予定）
- 浜通りまるごと会議のコンセプトを踏襲しながら、同様のイベントを地域団体と連携して実施の可能性を模索
- 世界経済フォーラム（ダボス会議）により組織される若者団体「グローバルシェイパーズコミュニティ福島ハブ」と連携し、大型ツアーも引き続き開催予定（2026年7・10月）
- 募集型企画旅行を行えるショクバイ株式会社との連携
- 関東や海外（例：2026年3月MITでのイベント開催）での活動を強化予定

継続的な財源 の確保

- 福島浜通り未来基金との連携による財源の確保
- 事業に共感していただける協賛を募ることで資金調達